

第2次防府市健康増進計画【健やかほうふ21計画(第2次)】 令和6年度事業実施状況調査票

今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を休廃止

各分野の取組
食 : 栄養・食育
歯 : 歯と口の健康
運動: 身体活動・運動
健康管理: ケンシン(健診・がん検診)等
喫煙: たばこ対策
こころ: 親子のこころの健康、こころの健康

(1) 栄養・食育

No.	事業名	事業概要	担当課	令和5年度実施状況	令和6年度実施状況	令和6年度の評価と課題	今後の方向性	各分野の取組					
								食	歯	運動	健康管理	喫煙	こころ
1	食生活改善推進員活動支援事業	食を通して地域の健康づくり活動を行うことができるよう、食生活改善推進員の知識・技術向上のため、研修会等を実施し、組織の育成と強化を図る。 食生活改善推進員の養成講座を実施する。	健康増進課	研修会 回数: 4回 (延べ293人参加) 食生活改善推進員: 152人	研修会 回数4回 (延べ284人参加) 食生活改善推進員: 145人	推進員から要望のあった、在宅介護食と防災について、家庭と地域の両方で活用できる内容の研修会を実施することができた。	B 引き続き、地域の健康づくりに活用できる内容と、推進員同士が楽しく協力して活動するための内容を検討し研修会を実施する。 養成講座を開講し、地区活動を行う推進員の増員に努める。	◎		○	○		○
2	ミニ離乳食教室	保護者がスムーズに離乳食を開始することができるよう、管理栄養士が初期の離乳食を調理し、実際に見ることで、離乳食の進め方や形状、作り方等を学ぶ教室を実施する。	こども相談支援課	回数: 12回 参加者延べ: 173組	回数: 12回 参加者延べ: 163組	離乳食の進め方や形状・作り方等を具体的に学ぶ機会となっており、子育て支援につながっている。R7年1月にこども家庭センターが移転したことに伴い、今後の開催場所について検討が必要である。	B 引き続き実施する。	◎					○
3	生活習慣改善教室	特定保健指導対象者や生活習慣の改善を希望する市民を対象に、生活習慣病予防に関する講話や生活改善のために栄養・運動に関する学習機会を提供する。	健康増進課	運動編4回 栄養編3回 参加者延べ: 88人 うち特定保健指導対象者7人 栄養編では、2回調理実習を行い、作った料理は持ち帰りとした。	運動編1回 食事編1回 参加者延べ: 29人 ヘルスアップ教室 2回 参加者延べ: 37人 年度途中からヘルスアップ教室と名前を変え、運動と栄養を1日で受けられるようにした。	生活習慣改善のためには運動・栄養の両面の取組が重要であることから1日に両方の内容を入れて開催した。ターゲット世代(40～64歳)の参加者が少ないため、実施方法・内容の検討が必要である。	A 教室の周知方法の工夫、講座日に土曜日を入れる、調理無しで試食ができる日を設ける等して、ターゲット世代の参加者増を狙って実施する。	◎		◎	○		
4	親子の料理教室	親子で料理することで、親子のコミュニケーションを図り、食事の楽しさ、バランスのよい食事について学ぶ機会とする。(小学生とその親を対象に親子の料理教室を食生活改善推進協議会が実施する。)	健康増進課	10地区で開催。(参加者延べ: 親139人、子215人)	13地区で開催。(参加者延べ: 親111人、子146人)	開催された全ての親子料理教室で、事故なく調理実習と試食を行うことができた。	B 引き続き、親子での料理体験や食育教室に参加できる機会を提供し、健康づくりの啓発を行う。	◎			○		
5	妊婦健康サポート事業	妊娠期を健康に過ごし、健やかな子どもの成長を支援するため、妊娠期からの食育を推進し、体の健康をサポートするために、旬の地元野菜、米、魚の宅配を行い、バランスのとれた食事の摂取を勧める。	こども相談支援課	米・旬の野菜等はJAに委託、旬の地元鮮魚は山口県漁業協同組合に委託。妊娠届出時に事業説明し、希望者に宅配。令和5年度妊娠届出者722名他、転入妊婦38人を対象とした。	米・旬の野菜等はJAに委託、旬の地元鮮魚は山口県漁業協同組合に委託。妊娠届出時に事業説明し、希望者に宅配。令和6年度妊娠届出者664名他、転入妊婦40人を対象とした。	妊婦の健康を食の面からサポートし、食育のきっかけとなっている。	B 引き続き実施する。	◎					
6	配食サービス事業	市内に居住するおおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者、高齢者のみの世帯などで、身体機能の低下などにより食事の確保が困難で見守りの必要な方に、週5食を限度として食事をお届けし、同時に利用者の安否を確認するサービスを行う。(利用料金1食410円)	高齢福祉課	利用者数: 966人 配食数: 16,643食	利用者数: 1,040人 配食数: 18,309食	配食サービス利用により、食の確保が困難な方に食事の提供及び安否確認を行うことができた。	B 今後も高齢者等の食の確保及び見守りを継続して行う。	◎					

第2次防府市健康増進計画【健やかほうふ21計画(第2次)】 令和6年度事業実施状況調査票

(1)栄養・食育										今後の方向性 A 積極的に推進 B 現行のまま推進 C 事業を改善 D 事業を休廃止		各分野の取組 食 : 栄養・食育 歯 : 歯と口の健康 運動: 身体活動・運動 健康管理: ケンシン(健診・がん検診)等 喫煙: たばこ対策 こころ: 親子のこころの健康、こころの健康					
No.	事業名	事業概要	担当課	令和5年度実施状況	令和6年度実施状況	令和6年度の評価と課題	今後の方向性		各分野の取組								
									食	歯	運動	健康管理	喫煙	こころ			
7	防府市高齢者食生活改善事業	高齢者等の生活の質の確保を図るとともに、高齢者等の保健福祉の向上を図ることを目的に、高齢者等及びその家族を対象に高齢者等の食生活改善の指導をする。	高齢福祉課	回数:8回／利用者:8名	回数:12回／利用者:12名	食事制限が必要な高齢者の家族やケアマネジャー等の関係機関から連絡を受けて食生活改善の指導を行った。	B	今後も高齢者等の利用者に対し適切な食生活改善の指導を行う。	◎								
8	短期集中予防型サービス	訪問により、栄養改善を目的とした、管理栄養士による指導、相談等を短期集中的に行う。 虚弱状態になった高齢者が元の生活を取り戻すために、3か月間、通所サービスにより支援を行う。	高齢福祉課	○栄養士による訪問指導 回数:2回 延べ人数2人 ○短期集中予防型通所サービス サービス修了者 127人 サービス途中中断者 23人 改善者(修了後にサービス利用なしで生活している人) 95人 改善率 63.3%	○栄養士による訪問指導(短期集中) 回数:0回 ○短期集中予防型通所サービス サービス利用者 165人 サービス修了者 124人 途中中断者 16人 改善者(修了後にサービス利用なしで生活している人) 93人 改善率 56.4%	高齢福祉課管理栄養士による訪問型短期集中サービスの利用がなかった。栄養状態改善の必要性がある要支援者等に適切にサービスを提供できるよう、包括支援センター等への周知が必要。 短期集中予防型通所サービス利用者は、心身の状態の改善が見られた人も多く、成果が得られた。サービス利用開始までの待機期間が生じており、実施できる事業所を確保していく必要がある。 改善率を維持するため、支援者の質の向上を図る必要がある。	B	管理栄養士による短期集中サービスについて、地域包括支援センターに周知していく。 改善された状態を維持できるよう、必要に応じて通いの場等への参加の促しや支援を行っていく。	◎		○						
9	保育所における食育の推進	配膳や片付けに関わる体験や野菜等の栽培、調理体験を通じて、食に対する主体性を育む取組を行う。また、給食だよりや給食参観等において、食の大切さを保護者に情報提供する。	子育て推進課	子どもと一緒に野菜を育て、収穫し、給食やおやつにして食べるなどし、食べることの大切さを教えた。また、保育参観において、食育についての講話や、保護者同士の意見交換を行った。	子どもと一緒に野菜を育て、収穫し、給食やおやつにして食べるなどし、食べることの大切さを教えた。また、保育参観において、食育についての講話や、保護者同士の意見交換を行った。	引き続き野菜の栽培や調理をする体験を通じて、食育の推進を進めることが必要である。	B	今後も継続して実施する。	◎								
10	地産地消推進事業	米消費拡大のための普及啓発を行う。 防府市農林水産業まつりでの地産地消の普及啓発を行う。 郷土料理(地産地消料理)教室を開催する。郷土料理(地産地消料理)レシピの啓発普及を行う。	農林水産振興課	農業まつりで地産地消ミルク鍋を販売 親子郷土料理教室:1回 親子料理教室:1回 市広報に地産地消料理レシピ掲載(6回)	農業まつりで地産地消ミルク鍋を販売 親子郷土料理教室:1回 親子料理教室:1回 市広報に地産地消料理レシピ掲載(6回)	関係機関と連携し実施できた。	B	今後も例年と同様の内容を継続して実施する。	◎								
11	おいしい防府農産物ブランド化事業	防府産として産地拡大を目指す農産物について、農協や生産者等と連携し、ブランド化を推進する。また、地産地消の推進と合わせてブランドのPRを実施することで、市内外の需要を拡大する。	農林水産振興課	「防府市の農産物マップ＆旬の農産物カレンダー」クリアファイルを市内小中学生全員に配付。学校栄養士等対象の有機にんじん産地見学会を実施した。	「防府市の農産物マップ＆旬の農産物カレンダー」クリアファイルを市内小中学生全員に配付 市民対象の玉ねぎの植え付け体験会を実施	関係機関と連携し実施できた。	B	今後も例年と同様の内容を継続して実施する。	◎								

今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を休廃止

各分野の取組
食 :栄養・食育
歯 :歯と口の健康
運動:身体活動・運動
健康管理:ケンシン(健診・がん検診)等
喫煙:たばこ対策
こころ:親子のこころの健康、こころの健康

第2次防府市健康増進計画【健やかほうふ21計画(第2次)】 令和6年度事業実施状況調査票

										各分野の取組					
No.	事業名	事業概要	担当課	令和5年度実施状況	令和6年度実施状況	令和6年度の評価と課題	今後の方向性			食	歯	運動	健康管理	喫煙	こころ
12	食育の日(19日)の地場産給食の実施	毎月19日の「食育の日」前後に地場産食材を利用した給食を提供する。	学校教育課	各小学校、共同調理場及びセンターにおいて実施した。	各小学校、共同調理場及びセンターにおいて実施した。	市場・卸業者等と連携し実施できた。	B	引き続き、毎月19日の「食育の日」前後に地場産食材を利用した食材を提供する。		◎					
13	県産100%メニューの実施(県事業)	学校給食における地産地消の取組を推進するため、県産100%メニューを年9回実施する。	学校教育課	各小学校、共同調理場及びセンターにおいて県産100%を目標に実施した。(100%献立は61/164回)	各小学校、共同調理場及びセンターにおいて県産100%を目標に実施した。(100%献立は69/157回)	市内16学校給食施設が県産100%を目標に献立を作成し、昨年を上回る実施となった。県産食材の調達天候の影響をうけることと、地元生産者及び市場・卸業者等との連携が必要である。	B	生産者や市場関係者と情報を共有し、県産食材や県産加工品を積極的に献立に取り入れる等、県産100%メニューの実施に努める。		◎					
14	地場産週間(各学期1週間)における地場産食材の利用拡大	学校給食を「生きた教材」として活用するための一つとして、各学期1週間を地場産週間とし地場産食材の利用拡大に努める。	学校教育課	各小学校、共同調理場及びセンターにおいて地場産食材の利用拡大に努めた。(令和5年度地場産率75.5%)	各小学校、共同調理場及びセンターにおいて地場産食材の利用拡大に努めた。(令和6年度地場産率75.4%)	市場・卸業者等の情報を各学校と共有し、献立を工夫する等、本市全体で利用率の向上を図った。地場産野菜等の納品ができたため、昨年と同等の利用率を維持できた。	B	生産者や市場関係者と情報を共有し、県産食材や県産加工品を積極的に献立に取り入れる等、利用率の維持・向上に努める。		◎					

今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を休廃止

各分野の取組
食 : 栄養・食育
歯 : 歯と口の健康
運動: 身体活動・運動
健康管理: ケンシン(健診・がん検診)等
喫煙: たばこ対策
こころ: 親子のこころの健康、こころの健康

第2次防府市健康増進計画【健やかほうふ21計画(第2次)】 令和6年度事業実施状況調査票

今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を休廃止

各分野の取組
食 : 栄養・食育
歯 : 歯と口の健康
運動: 身体活動・運動
健康管理: ケンシン(健診・がん検診)等
喫煙: たばこ対策
ところ: 親子のこころの健康、こころの健康
※主に中心となる取組をした分野に◎、取組をした分野は○

(2)歯と口の健康

No.	事業名	事業概要	担当課	令和5年度実施状況	令和6年度実施状況	令和6年度の評価と課題	今後の方向性	各分野の取組					
								食	歯	運動	健康管理	喫煙	こころ
1	母子歯科保健事業	歯科保健に対する正しい知識の普及を図るため、1歳6か月児健診、3歳児健診、乳幼児相談時に、歯科衛生士による歯科保健指導を実施する。	こども相談支援課	健診では、歯科衛生士による年齢に応じた歯科保健指導を行った。 乳幼児相談は、計35回実施。歯科衛生士は6回出務し、個別の歯科指導を行った。 妊娠届出時に、妊娠中期における歯科検診の重要性について、指導した。	健診では、歯科衛生士による年齢に応じた歯科保健指導を行った。 乳幼児相談は、計24回実施。歯科衛生士は6回出務し、個別の歯科指導を行った。 妊娠婦歯科健康診査を開始。妊娠届出時に、受診票を配布し、妊娠期から歯科健診を受け、お口の健康について関心をもってもらうきっかけとした。	妊娠婦歯科健康診査をきっかけに妊娠中から歯の健康についての意識をもってもらえるように啓発を行う必要がある。	B 引き続き実施する。		◎		○		
2	地域介護予防活動支援事業	介護予防を推進するため、防府市社会福祉協議会と委託契約している「地域住民グループ支援事業」により実施している「ふれあいいきいきサロン」において、講師として歯科衛生士を派遣し口腔ケアの動機づけを行っており、その講師謝礼金を支出する。	高齢福祉課	いきいきサロン登録件数:130件 回数:1回／利用者:15人	いきいきサロン登録件数:136件 回数:0回／利用者:／0人	令和6年度はサロン活動として実施することができなかった。	B 口腔ケアの必要性を伝えることで、介護予防が図れるよう継続して行う。		◎				
3	オーラルフレイルの介護予防	介護予防の視点からお口の健康の必要性や歯みがき、入れ歯の手入れなど具体的な方法についての講話を行う。	高齢福祉課	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業におけるポピュレーションアプローチとして、住民主体の介護予防教室において、歯科衛生士、保健師によるオーラルフレイル予防の健康教育を実施した。 実施グループ数 8か所 参加者数 110人	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業におけるポピュレーションアプローチとして、住民主体の介護予防教室において、歯科衛生士、保健師によるオーラルフレイル予防の健康教育を実施した。 実施グループ数 8か所 参加者数 82人	オーラルフレイルの予防について、専門的な視点から啓発することができた。 オーラルフレイルやフレイルの予防について、94.7%が「理解した」と回答した。 教室参加前後を比較すると、「歯磨き時に鏡を見て歯肉の状態を確認する」「毎月歯ブラシを交換する」「定期的に歯科健診を受ける」と回答した者が増加した。	B 通いの場でのオーラルフレイル予防について継続して実施していく。		◎				

第2次防府市健康増進計画【健やかほうふ21計画(第2次)】 令和6年度事業実施状況調査票

									各分野の取組					
No.	事業名	事業概要	担当課	令和5年度実施状況	令和6年度実施状況	令和6年度の評価と課題	今後の方向性		食	歯	運動	健康管理	喫煙	こころ
1	生活習慣改善教室	特定保健指導対象者や生活習慣の改善を希望する市民を対象に、生活習慣病予防に関する講話や生活改善のために栄養・運動に関する学習機会を提供する。	健康増進課	運動編4回 栄養編3回 参加者延べ:88人 うち特定保健指導対象者7人 運動編については、防府市リハビリテーション専門職協議会から派遣となったため、講話の狙いと内容の統一を図るため担当者間で協議を行った。	運動編1回 栄養編1回 参加者延べ:29人 ヘルスアップ教室 参加者延べ:37人 年度途中からヘルスアップ教室と名前を変え、運動と栄養を1日で受けられるようになった。	生活習慣改善のためには運動・栄養の両面から関わっていくことが重要であることから1日での開催を行った。働き世代の参加者数が少ないのではないかと	A	引き続き実施する。働き世代の参加を促すために土曜日開催を増やす、だれでもできそうと思える運動内容にするなど工夫をしていく。	◎		◎	○		
2	マイマイ体操の普及啓発事業	生活の中で簡単に運動が継続できることを目的に、平成22年度に「マイマイ新子と千年の魔法」のサウンドトラックの音楽にあわせて、全身のストレッチができるDVDを作成。 食生活改善推進協議会とともに、地区の料理教室、生活改善教室開催時等に実施し普及啓発を行っている。	健康増進課	回数:7回 参加者延べ:155人	回数:4回 参加者延べ:134人	調理室のみで完結する料理教室では体操の実施が難しかった。今後も食生活改善推進協議会とともに、市民へ周知していく。	C	マイマイ体操よりも実践・定着しやすい体操の実施を検討しながら、引き続き実施する。。			◎			
3	障害者スポーツ交流事業	障害者等の体力増強や社会との交流促進及び障害者スポーツの普及を目的として、障害者スポーツ大会等を開催し、障害者スポーツに触れる機会等を提供する。 山口県障害者スポーツ大会への参加や市障害者体育大会等を実施する。	障害福祉課	全国障害者スポーツ大会派遣選手選考会:12名 防府市障害者体育大会参加者:286名	全国障害者スポーツ大会派遣選手選考会:11名 防府市障害者体育大会参加者:400名	各行事の参加者がほぼ固定しており、新規参加者が少ない。	B	各団体へ参加の呼びかけを継続して行う。			◎			
4	防府市障害福祉団体連合会との共催でスポーツ大会実施	障害者等のスポーツ参加を促進すると共に、スポーツを通じた交流促進を目的として、市内障害者団体で組織する防府市障害福祉団体連合会との共催により、ふうせんバレーボール大会や親睦卓球大会を開催する。	障害福祉課	ふうせんバレーボール大会:7チーム56名 親睦卓球大会:179名	ふうせんバレーボール大会:5チーム45名 親睦卓球大会:45名	各行事の参加者がほぼ固定しており、新規参加者が少ない。	B	各団体へ参加の呼びかけを継続して行う。			◎			
5	介護予防の普及啓発	市広報や住民主体の介護予防教室、地域の集いの場等で地域包括支援センター職員等により介護予防の普及啓発を行う。	高齢福祉課	住民主体の介護予防教室において、リハビリ専門職や地域包括支援センター職員等が介護予防についての普及啓発を行った。 回数／126回 人数／延べ925人 また、地区のサロン等、高齢者の集いの場において、地域包括支援センター職員等が介護予防の普及啓発を行った。 回数／25回 人数／延べ 411人	住民主体の介護予防教室や、地区のサロン等、高齢者の集いの場において、リハビリテーション専門職や地域包括支援センター職員等が介護予防の普及啓発を行った。 回数／113回 人数／延べ 1,356人	地域の集まりの場において、介護予防の必要性について広く啓発を行うことができた。	B	今後も介護予防について、幅広い方への普及啓発を行う。			◎			

今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を休廃止

各分野の取組
食 :栄養・食育
歯 :歯と口の健康
運動:身体活動・運動
健康管理:ケンシン(健診・がん検診)等
喫煙:たばこ対策
こころ:親子のこころの健康、こころの健康
※主に中心となる取組をした分野に◎、取組をした分野は○

第2次防府市健康増進計画【健やかほうふ21計画(第2次)】 令和6年度事業実施状況調査票

										各分野の取組					
No.	事業名	事業概要	担当課	令和5年度実施状況	令和6年度実施状況	令和6年度の評価と課題	今後の方向性			食	歯	運動	健康管理	喫煙	こころ
6	地域介護予防活動支援事業	介護予防を推進するため、防府市社会福祉協議会と委託契約している「地域住民グループ支援事業」により実施している「ふれあいいきいきサロン」において、講師として健康運動指導士を派遣し介護予防体操の定着、高齢者への運動の動機づけを行っており、その講師謝礼金を支出する。	高齢福祉課	いきいきサロン登録件数:130件 回数:17回 参加者: .347人	いきいきサロン登録件数:136件 回数:11回 参加者: .206人	健康運動士の派遣により、介護予防体操を実施し、介護予防を推進することができた。	B	今後も介護予防が図れるよう継続して行う。			◎				
7	住民主体の介護予防教室	リハビリ専門職と協力し、やまぐち元気アップ体操を活用した住民主体の介護予防教室の運営支援を行う。(H29年11月開始)	高齢福祉課	回数: 92 回 参加者:延べ791人 令和5年度末グループ数:63	回数: 64 回 参加者:延べ606人 令和5年度末グループ数:64	代表者や参加者の高齢化により、活動が困難になったグループがある。参加しやすい環境づくりも含め、引き続き介護予防の取り組みを進めていく必要がある。	B	リハビリ専門職と連携を図り、より住民が参加しやすい活動となるよう支援を行っていく。		○	◎	○			
8	幸せます健康くらぶ	総合事業のサービスとして、買い物支援と介護予防教室を組合せて実施する。(H29年5月開始)	高齢福祉課	回数:23回 参加者:237人	要支援者、事業対象者を対象として、介護予防教室と買い物支援を組み合わせたサービスである「幸せます健康くらぶ」を開催した。 回数:24回 参加者:208人	利用者は継続して参加ができている。引き続き、介護予防の取組を進めていく。	B	高齢者の介護予防の取り組みを進めるため、事業対象者の参加を促すとともに、サービス継続のための運営支援を行っていく。			◎				
9	各公民館学級・教室	各公民館で行われる家庭教育学級・女性学級・高齢者教室の中で、笑いヨガやヨガ体操、フォークダンス等健康な身体作りや心と身体のリフレッシュを目的に開催する。	生涯学習課	回数:28回 参加者延べ:486人	回数:33回 参加者延べ:588人	各公民館で、左記講座が開催できている。	B	引き続き実施していく。			◎				
10	防府市スポーツ協会の教室	各11種目(乗馬、持久走,ボウリング、ミニトランポリン、リズム体操、柔道体験、ハイハイレース、かけっこレース、インターバル速歩、バレーボール教室、自転車体験)の教室を実施。多様なスポーツに触れる機会を提供し、体力の向上やスポーツの推進を図る。	スポーツ振興課	6種目の教室を実施。 参加者延べ:225人	5種目の教室を実施。 参加者延べ:219人	多種多様なスポーツに触れる機会を提供し、体力の向上やスポーツの推進を図ることができた。 常連から初めての方までより多くの方が参加されるよう、内容の見直しや広報の工夫が必要である。	B	今後も継続して実施する。			◎				
11	ほうふスポーツフェスタ	市民あげてのスポーツの日とし、スポーツの意義や楽しさを理解し、関心を深めると共に、市民の体力向上や生涯スポーツに寄与することを目的に開催する。	スポーツ振興課	10月20日(日)にほうふスポーツフェスタ2023を開催 当日自由に参加できるスポーツブースの他、事前申し込みのスポーツ教室を設けるとともに、飲食ブースや車両展示等も行い参加者が一日楽しめるイベントを行った。 参加者数:約2,200名	10月20日(日)にほうふスポーツフェスタ2024を開催 当日自由に参加できるスポーツブースの他、事前申し込みのスポーツ教室を設けるとともに、飲食ブースや車両展示等も行い参加者が一日楽しめるイベントを行った。 参加者数:約2,400名	普段スポーツに馴染みのない人も参加したいと思えるよう、内容や広報方法の工夫・見直しが必要である。 また雨天時の対策についても検討が必要である。	B	今後も継続して実施する。			◎				

今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を休廃止

各分野の取組
食 :栄養・食育
歯 :歯と口の健康
運動:身体活動・運動
健康管理:ケンシン(健診・がん検診)等
喫煙:たばこ対策
こころ:親子のこころの健康、こころの健康
※主に中心となる取組をした分野に◎、取組をした分野は○

第2次防府市健康増進計画【健やかほうふ21計画(第2次)】 令和6年度事業実施状況調査票

今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を休廃止

各分野の取組
食 : 栄養・食育
歯 : 歯と口の健康
運動: 身体活動・運動
健康管理: ケンシン(健診・がん検診)等
喫煙: たばこ対策
ところ: 親子のこころの健康、こころの健康
※主に中心となる取組をした分野に◎、取組をした分野は○

(3)身体活動・運動

No.	事業名	事業概要	担当課	令和5年度実施状況	令和6年度実施状況	令和6年度の評価と課題	今後の方向性	各分野の取組					
								食	歯	運動	健康管理	喫煙	こころ
12	市内一周駅伝競争大会	成人の日を記念して、長距離を走破することにより、強健な体力・精神力を養うと共に、健康増進を図ることを目的に開催する。	スポーツ振興課	1月7日(日)に開催。 参加者:104チーム 597人	1月12日(日)に開催。 参加者:97チーム 652人	新春のイベントとして市民に根付いている行事である。 市内の一般道路を走路としているため、走者の安全確保が大きな課題である。	B 今後も継続して実施する。			◎			
13	ニュースポーツ大会	防府市スポーツ推進委員連絡協議会主催で、市民を対象としたニュースポーツ大会を開催する。	スポーツ振興課	市民モルック大会(2会開催) ・7月23日(日)向島運動公園多目的広場 参加者:18チーム 61人 ・2月18日(日)麒麟レモンスタジアム運動広場 参加者:27チーム 95人	市民モルック大会 5月18日(土)麒麟レモンスタジアム運動広場 参加者:26チーム 86人	防府市スポーツ協会100周年記念事業として市民モルック大会を開催。昨年度に引き続き大変な盛り上がりだった。 今後も継続して開催していきたい。	B 今後も継続して実施する。			◎			
14	指定管理者各種スポーツ教室	スポーツ教室やコース型教室等を実施する。多様なスポーツに触れる機会を提供し、体力向上やスポーツの推進を図る。	スポーツ振興課	スポーツイベント回数:6回、参加者:91人 スポーツ教室回数:1,128回、参加者:9,635人 スポーツ大会回数:1回、参加チーム:8チーム	スポーツイベント回数:7回、参加者:330人 スポーツ教室回数:1,086回、参加者:9,450人	参加型イベントの開催、より充実した幅広い教室の開催を目指していきたい。また教室等の実施を担当するニュースポーツ各協会のフォローも行っていきたい。	B 今後も継続して実施する。			◎			

第2次防府市健康増進計画【健やかほうふ21計画(第2次)】 令和6年度事業実施状況調査票

										各分野の取組					
										食 : 栄養・食育 歯 : 歯と口の健康 運動 : 身体活動・運動 健康管理 : ケンシン(健診・がん検診)等 喫煙 : たばこ対策 こころ : 親子のこころの健康、こころの健康 ※主に中心となる取組をした分野に◎、取組をした分野は○					
(4)日頃の健康管理															
No.	事業名	事業概要	担当課	令和5年度実施状況	令和6年度実施状況	令和6年度の評価と課題	今後の方向性		各分野の取組						
									食	歯	運動	健康管理	喫煙	こころ	
1	健康診査事業 (生活保護受給者の特定健診、肝炎ウイルス検査)	健診の機会のない40歳以上を対象に、内科健診を実施し、疾病の早期発見・早期治療を図ることを目的とする。40歳以上で、今までに肝炎ウイルス検査を受けていない人を対象に検査を実施する。	健康増進課	生活保護受給者の特定健診受診者:11人 肝炎ウイルス検査受診者:48人	生活保護受給者の特定健診受診者:8人 肝炎ウイルス検査受診者: 48 人	対象者へ事業を周知するため、健診の案内チラシを作成し、生活支援課にチラシ配布を依頼したが、受診者数は横ばいだった。引き続き周知が必要である。	B	引き続き、生活保護者の健康診査は生活支援課と連携し、対象者へ周知、受診勧奨を行う。肝炎ウイルス検診については引き続き実施する。				◎			
2	がん検診	検診の機会のない40歳以上の人を対象に、がん検診を実施し、疾病の早期発見・早期治療を図ることを目的とする。※子宮がん検診は20歳以上。	健康増進課	胃がん検診受診:1,086人 大腸がん検診受診:2,231人 肺がん検診:1,210人 乳がん検診:1,896人 子宮がん検診:3,397人 前立腺がん検診:432人	胃がん検診受診:1,159人 大腸がん検診受診:2,203人 肺がん検診:1,495人 乳がん検診:1,794人 子宮がん検診:3,093人 前立腺がん検診:422人	検診受診率の向上を目指し、広く市民に啓発を行うため、「幸せますケンシンまつり」を開催した。また、新たに「防府市がん検診ガイド」を作成し全戸配布、集団検診の一部をWEB予約可能とした。一部の集団検診では、受診者数が増加しているが、全体数では減少している検診もある。	B	引き続き、WEB予約の拡充や複数の検診を一度に受診できる等、受診者が検診を受けやすい体制づくりやがん検診の必要性の周知啓発を行う。				◎			
3	お母さんの健康チェック	乳幼児相談に併せて、健診の機会の少ない母親に対して、保健師や管理栄養士による簡単な健康チェック(血圧測定・骨健康度測定・体脂肪測定)と健康教育を実施する。	こども相談支援課	毎月実施する乳幼児相談に来所された方を対象とし、保健師が声をかけ、血圧測定や骨密度測定、大腸クイズラリーを実施した。十数人が利用している。また、明治安田生命に依頼し、ベジチェックと血管年齢を行った際は、28人が参加した。	乳幼児相談に来所された方を対象とし、保健師が声をかけ、血圧測定や体脂肪率の測定の実施を行った。また、明治安田生命に依頼し、ベジチェックと血管年齢を行い、35人が参加した。	本年度は実施回数が2回であったため、実施回数を増やして参加者を増やす必要がある。	B	次年度は予め、明治安田生命に年間計画予定を打診して、前年度より多く実施できるよう日程調整をして開催する予定。	○		○	◎		○	
4	健康診査事業 (妊婦健康診査・乳児健康診査・幼児健康診査)	妊婦や乳幼児の健康状態を把握し、異常の早期発見に努めるとともに、生活習慣の確立や育児に関する相談や指導を行う。※R1.9より、産婦健康診査(産後2週間、産後1か月)を実施。	こども相談支援課	産婦健康診査(産後2週間643人、産後1か月682人) 多胎妊婦健康診査(8件交付) 妊婦健診受診者(前期707人、後期633人) 1か月健診受診者:729人 3か月児健診受診者:760人 7か月児健診受診者:740人 1歳6か月児健診受診者:799人 3歳児健診受診者:662人	産婦健康診査(産後2週間655人、産後1か月686人) 多胎妊婦健康診査(10件交付) 妊婦健診受診者(前期656人、後期586人) 1か月健診受診者:667人 3か月児健診受診者:684人 7か月児健診受診者:705人 1歳6か月児健診受診者:778人 3歳児健診受診者:829人	妊婦健診の経済的な負担の軽減、乳幼児期の異常の早期発見、保護者の育児不安に対する支援の機会となっている。また、妊婦健診、産婦健診では、医療機関と連携し、早期に妊婦、産婦の支援につなげることができた。	A	令和7年7月から1歳児健診を行う。医療機関と連携して、今まで以上に保護者の育児不安の軽減に努める				◎			

今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を休廃止

各分野の取組
食 :栄養・食育
歯 :歯と口の健康
運動:身体活動・運動
健康管理:ケンシン(健診・がん検診)等
喫煙:たばこ対策
こころ:親子のこころの健康、こころの健康
※主に中心となる取組をした分野に◎、取組をした分野は○

第2次防府市健康増進計画【健やかほうふ21計画(第2次)】 令和6年度事業実施状況調査票

今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を休廃止

各分野の取組
食 : 栄養・食育
歯 : 歯と口の健康
運動: 身体活動・運動
健康管理: ケンシン(健診・がん検診)等
喫煙: たばこ対策
ところ: 親子のこころの健康、こころの健康
※主に中心となる取組をした分野に◎、取組をした分野は○

(4)日頃の健康管理

No.	事業名	事業概要	担当課	令和5年度実施状況	令和6年度実施状況	令和6年度の評価と課題	今後の方向性	各分野の取組					
								食	歯	運動	健康管理	喫煙	こころ
5	特定健康診査	40歳以上の国民健康保険被保険者を対象に、糖尿病・高血圧症、脂質異常症等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として、内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)に着目した生活習慣病予防のための特定健康診査を実施する。	保険年金課	受診者:4,922人 受診率:34.9%	受診者:4,721人 受診率:35.4%	集団健診の実施回数の増による受診環境の整備、未受診者対策として受診勧奨ハガキの送付回数を増やすなどしたが、受診率が伸び悩んだ。	A 受診率の増加を図るため、未受診者へ人口知能(AI)を活用した受診勧奨ハガキを3回送付する。 また、集団健診の実施回数を増やすことで、受診率が低い若い世代が受診しやすい環境を整える。				◎		
6	特定保健指導	特定健康診査の結果により、動機付け支援、積極的支援に該当した人に対して、生活習慣の行動変容のきっかけづくりを目的として保健指導を実施する。	保険年金課	動機付け支援利用者:31人 積極的支援利用者:5人	動機付け支援利用者:56人 積極的支援利用者:11人	集団健診時に対象者を把握し初回面接の半分を行うなどしたため、前年度に比べ利用者数が増えたが、特定保健指導の内容が被保険者に浸透していないこともあり、周知方法の検討が必要である。	A 実施医療機関について、拡充できないか引き続き検討する。 また、市保健センターと連携し、未利用者に対し特定健診の結果表を受け取りに来てもらうなどして接触の機会を増やし、利用につなげていきたい。				◎		
7	人間ドック	30歳以上の国民健康保険被保険者を対象に、疾病予防及び早期発見・早期治療により被保険者の健康維持、向上に努める。	保険年金課	受診者:1,478人 受診率:8.3%	受診者:1,398人 受診率:8.4%	前年度と同様に利用券を全対象者に送付した、受診者数は減少したが、対象者数の減少割合の方が大きいため、若干ではあるが受診率は上昇した。	A 引き続き積極的な受診勧奨及び、一定期間未受診者への周知、勧奨方法について検討する。				◎		

第2次防府市健康増進計画【健やかほうふ21計画(第2次)】 令和6年度事業実施状況調査票

今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を休廃止

各分野の取組
食 : 栄養・食育
歯 : 歯と口の健康
運動: 身体活動・運動
健康管理: ケンシン(健診・がん検診)等
喫煙: たばこ対策
ところ: 親子のこころの健康、こころの健康
※主に中心となる取組をした分野に◎、取組をした分野は○

(5)喫煙															
No.	事業名	事業概要	担当課	令和5年度実施状況	令和6年度実施状況	令和6年度の評価と課題	今後の方向性		各分野の取組						
									食	歯	運動	健康管理	喫煙	こころ	
1	たばこの害に関する正しい知識の普及・啓発	市広報で、「世界禁煙デー」の啓発と、禁煙の必要性や禁煙相談窓口について啓発をする。	健康増進課	・市広報5月15日号に「世界禁煙デー」の記事を掲載。 ・禁煙相談も随時対応。 ・市内の禁煙外来・禁煙相談薬剤師を案内するリーフレットを作成した。	・市広報5月号に「世界禁煙デー」の記事を掲載。 ・禁煙相談も随時対応。	県が作成したリーフレットを活用し、たばこの害に関する知識を普及することができた。また、健康相談等で喫煙者に対し、市内の禁煙外来や禁煙相談薬剤師の一覧を使用し、より効果的に禁煙できる方法を周知することができた。	B	今後もリーフレットを活用しながら、様々な機会をとらえタバコの害に関する正しい知識の普及や禁煙の促進に努める。						◎	
2	たばこの害に関する正しい知識の普及・啓発	妊娠届出時に妊婦及び家族に禁煙指導を実施する。	こども相談支援課	1歳半、3歳児健診時に、喫煙する保護者に対し子どもへの影響について指導を行った。 禁煙等指導延べ人数:722人(妊娠届出時)	1歳半、3歳児健診時に、喫煙する保護者に対しリーフレットを配付し、子どもへの影響について指導を行った。 妊娠届出時に禁煙等について指導を行った:人数664人	母子の健康を守り、受動喫煙を防ぐために、面接、家庭訪問、健診や講座等の様々な機会をとらえ、たばこの害や禁煙方法等について、情報提供を行い、禁煙の促進に努める必要がある。	B	引き続き実施する。						◎	
3	「薬物乱用ダメ。ゼッタイ教室」の実施	たばこを含めた薬物乱用の未然防止と、若者の健全育成を図ることを目的に、健康福祉センター、防府警察署、学校薬剤師等と連携して「薬物乱用ダメ。ゼッタイ教室」を各学校で実施している。各小中学校体育科・保健体育科の中で、喫煙が健康を損なう原因になることについて学ぶ。	学校教育課	「薬物乱用ダメ。ゼッタイ。教室」 ・市内全28小中学校で対面にて実施。(講師:警察職員、学校薬剤師等) ・DVD視聴、講演、実験、展示閲覧を各校の要望に応じて実施。	「薬物乱用ダメ。ゼッタイ。教室」 ・市内全28小中学校で対面にて実施。(講師:警察職員、学校薬剤師等) ・DVD視聴、講演、実験、展示閲覧を各校の要望に応じて実施。	各小中学校で、薬物や飲酒、喫煙等について、健康を損なう原因や、危険性、社会的影響について学習することができた。	B	喫煙や薬物乱用に関する法律や条令の改定、状況の変化に応じるため、今後も引き続き実施する。						◎	

第2次防府市健康増進計画【健やかほうふ21計画(第2次)】 令和6年度事業実施状況調査票

										今後の方向性 A 積極的に推進 B 現行のまま推進 C 事業を改善 D 事業を休廃止		各分野の取組 食 : 栄養・食育 歯 : 歯と口の健康 運動: 身体活動・運動 健康管理: ケンシン(健診・がん検診)等 喫煙: たばこ対策					
(6)こころ_親のこころ 子のこころ																	
No.	事業名	事業概要	担当課	令和5年度実施状況	令和6年度実施状況	令和6年度の評価と課題	今後の方向性		各分野の取組								
									食	歯	運動	健康管理	喫煙	こころ			
1	妊婦の保健指導事業	妊娠届出時に、保健師や看護師が、個別に保健指導を実施する。必要に応じて、個別に家庭訪問や面接を実施する。	こども相談支援課	妊娠届出時保健指導:722人 妊婦個別訪問指導:延15人 妊婦個別面接指導:延154人 妊娠後期面談:28人 妊娠届出等で把握した要支援者について、訪問や面接で妊娠経過や生活状況、子育て状況を確認し、必要な情報の提供を行った。	妊娠届出時保健指導:664人 妊婦個別訪問指導:延26人 妊婦個別面接指導:延235人 妊娠後期面談:32人 妊娠届出等で把握した要支援者について、訪問や面接で妊娠経過や生活状況、子育て状況を確認し、必要な情報の提供を行った。	令和5年度から、妊娠後期アンケートを実施しており、希望者には面談を行った。妊娠届の内容により必要に応じて訪問や来所相談を実施している。	B	引き続き実施する。	○	○		○	○	◎			
2	両親学級	妊婦とパートナーを対象に、助産師・保健師・管理栄養士の講話や妊婦ジャケットの着用・赤ちゃん人形での抱き方の練習等の体験を通じて、出産・子育てについての心構えや知識を学ぶ教室を開催。	こども相談支援課	回数4回、参加者延べ88組、177人	回数4回、参加者延べ88組、176人	情報の一方通行 : 講義形式が多く、参加者が受け身になりやすい。実際の子育てにどう活かせるのかイメージしやすさを追求する必要がある。 アクセスの課題 : 開催場所が保健センターのみ、限定的で、こども家庭センターと場所の混乱がある。	C	開催する会場や講座の内容について検討を行う。	○	○	○	○		◎			
3	母子保健訪問指導事業	乳幼児の健康の保持増進、育児不安の軽減を目的に、保健師・助産師・栄養士が家庭訪問を実施する(産婦には、エジンバラ産後うつ病質問票を記入してもらい産後うつ病の早期発見に努める)。	こども相談支援課	訪問件数:451件 (新生児延べ:49件、未熟児延べ:4件、乳児延べ:137件、幼児延べ:118件、産婦延べ:143件)	訪問件数:611件 (新生児延べ:38件、未熟児延べ:5件、乳児延べ:123件、幼児延べ:118件、産婦延べ:130件、その他:197件)	乳幼児の健康の保持増進、育児不安の軽減を目的として訪問しているため、父親や幼児の母親に対しての心身の健康について訪問にて指導助言をしたその他について197件を入れたため、訪問件数が増えている。	B	引き続き実施する。						◎			
4	母子保健推進員の育成、活動の充実	子育て家庭において地域の身近な相談者である母子保健推進員を育成するとともに、母子保健事業について十分な知識を持つための研修会を実施する。	こども相談支援課	母子保健推進員141人 子育てサークル実施回数は各地区合計で49回である。 各地区に保健師が出向き、地区研修会も行った。	母子保健推進員141人 子育てサークル実施回数は各地区合計で50回である。 各地区に保健師が出向き、地区研修会も行った。	全地区で子育てサークルを開催できており、地域の親子の交流や子育て支援につながっている。	B	実情を踏まえた研修会を実施していく。						◎			
5	こんにちは赤ちゃん事業	母子保健推進員が生後3か月児の家庭を訪問し、養育状況の把握や様々な不安や悩みを聞き、育児に関する情報提供を行うとともに、必要に応じて保健師等の訪問につなげる。	こども相談支援課	訪問件数:732件	訪問件数:641件	訪問で母の話を聴いてもらい、心配な状況にある方については、こども家庭センターにつないでもらい保健師等が支援している。	B	引き続き実施する。						◎			
6	乳幼児相談事業	育児等の不安が解消できるよう、保健師や助産師、栄養士・保育士による育児相談を行う。	こども相談支援課	毎月3回、年36回 利用者実)419名 延)1319名	毎月2回、年間24回 利用者実数)358名 延数)1195名	本事業開催場所が保健センターであり、市民の混乱あり。次年度中に華城のこども家庭センターで実施できるように事業の移転計画を思案中。	B	引き続き実施する。	○	○				◎			

第2次防府市健康増進計画【健やかほうふ21計画(第2次)】 令和6年度事業実施状況調査票

今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を休廃止

各分野の取組
食 : 栄養・食育
歯 : 歯と口の健康

運動: 身体活動・運動
健康管理: ケンシン(健診・がん検診)等
喫煙: たばこ対策

(6) ころ 親のころ 子のころ

No.	事業名	事業概要	担当課	令和5年度実施状況	令和6年度実施状況	令和6年度の評価と課題	今後の方向性	各分野の取組					
								食	歯	運動	健康管理	喫煙	ころ
7	ゆっくり子育て学び塾	子育てについて悩みや不安を持っている親が、子どもとの関わり方を学ぶことで、子育てに自信を持ち、ゆったりとした気持ちで子育てができることを目的に実施する。	こども相談支援課	回数: 6回 参加者: 48人	回数: 6回 参加者: 51人	教室名を変更し、母子モでの予約を開始したが、参加者の増加には繋がらなかった。また、開催月により、参加者数に偏りがあった。	C 講師や教室の内容を見直し、今後の体制について検討する。						◎
8	5歳児(年中児)発達相談会	各幼稚園・保育園等を通じて問診票を配布し、参加者に育児支援、生活支援、就学支援を実施する。	こども相談支援課	回数: 12回 参加者: 74人	回数: 11回 参加者: 70人	参加者数が増加している。相談を受ける心理士の日数の確保が難しいことが課題である。	B 引き続き実施する。						◎
9	いのちの学習事業	小学生が、自分を大切にし他人を思いやる心を持つことができるよう健康教育を実施する。	こども相談支援課	小学校2校で実施 参加者: 180人 赤ちゃん人形や妊婦体験ジャケットを用いた体験の時間も取り入れながら、小学生にいのちの起源についてや、自分や他人を大切にすることを伝えた。	小学校1校で実施 参加者: 10人 赤ちゃん人形や妊婦体験ジャケットを用いた体験の時間も取り入れながら、小学生にいのちの起源についてや、自分や他人を大切にすることを伝えた。	学校教育の中で実施されているいのちの学習との整合性を図りながら実施方法について検討する必要がある。	B 学校教育の中で実施されているいのちの学習との整合性を図りながら学校等からの実施依頼があれば対応できるようにする。						◎
10	母子への健康教育事業	母子の健康づくりを目的として、子育てサークルや子育て支援センター等で健康教育を行う。	こども相談支援課	回数: 49回 参加者延べ: 1044人 参加している親の健康管理について周知啓発する。	回数: 56回 参加者延べ: 987人 参加している親の健康管理について周知啓発する。	子育て世代の健康課題からより効果的な健康教育内容となるよう、内容を評価しながら実施する。	B 引き続き実施する。						◎
11	こども家庭センター事業(母子保健機能相談事業)	妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を行うことを目的に令和6年度からこども家庭センターを開設。妊婦から乳幼児の実態把握、相談支援及び情報提供、支援プランの作成、関係機関の連携体制の構築を行う。	こども相談支援課	相談件数1513件 産前サポート事業(プレママ★まんまるサロン)9回実施 産後ケア事業の日中一時滞在型の対象者を拡大した。 子育て世代包括ネットワーク会議、子育て支援センターとの情報交換会を年1回実施。	相談件数2771件 産前サポート事業(プレママ★まんまるサロン)6回実施 子育て世代包括支援ネットワーク会議、子育て支援センターとの情報交換会を年1回実施。	子育て世代包括支援センターとこれまでの保健センターの母子保健係が統合し、令和6年度から、こども家庭センターの母子保健機能の中で、保健師、助産師が、妊娠期から出産、乳幼児期を中心に、相談を電話、来所、メール等で受けた。今後も関係機関との連携体制構築を推進し、妊産婦・子育て世代の切れ目ない支援体制の充実を図る必要がある。	B 引き続き実施する。						◎
12	出産・子育て応援事業(伴走型相談支援)	妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援(妊娠届出時の妊婦との全員面談、妊娠後期の情報発信や相談の随時受付、産婦との全員面談)を充実し、経済的支援を一体として実施する。	こども相談支援課	妊娠届出時面接: 722件 妊娠後期面談: 28件 産後面談件数: 731件	妊娠届出時面接: 664件 妊娠後期面談: 32件 産後面談件数: 674件	全妊産婦と面談することで、身近な相談場所がわかり、妊産婦の安心感につながった。関係機関とも情報共有しながら、支援していく。	B 引き続き実施する。						◎

第2次防府市健康増進計画【健やかほうふ21計画(第2次)】 令和6年度事業実施状況調査票

今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を休廃止

各分野の取組
食 : 栄養・食育
歯 : 歯と口の健康

運動: 身体活動・運動
健康管理: ケンシン(健診・がん検診)等
喫煙: たばこ対策

(6) ころ 親のころ 子のころ

No.	事業名	事業概要	担当課	令和5年度実施状況	令和6年度実施状況	令和6年度の評価と課題	今後の方向性		各分野の取組					
									食	歯	運動	健康管理	喫煙	ころ
13	地域子育て支援拠点事業の拡充による子育て支援	地域の子育て支援機能の拡充を図るため、子育て中の親子の交流を促進する。また、相談や援助の実施や関連情報を提供するとともに、子育て及び子育て支援に関する講習会等を実施する。	子育て推進課	開設: 8箇所 (きんこう、西佐波、小野、東牟礼、右田、牟礼、きんこう第2、新田) 延べ利用者数 22,922人	開設: 8箇所 (きんこう、西佐波、小野、東牟礼、右田、牟礼、きんこう第2、新田) 延べ利用者数 20,345人	地域の未就園児と保護者同士の交流が図れた。	B	今後も継続して実施する。						◎
14	子育て応援サイト事業の活用	利用者の視点にたった子育てに関する様々な情報をわかりやすく提供する子育て応援サイトを開設し、運営する。	子育て推進課 こども相談支援課	子育て包括支援センター(まんまるほうふ)と一緒にサイト内の情報を更新。 アクセス数 34,017件 (月平均2,834件、前年度比241%増)	子育て包括支援センター(まんまるほうふ)と一緒にサイト内の情報を更新。 アクセス数 46,073件 (月平均3,839件、前年度比135.4%増)	乳幼児を抱える保護者の子育て支援の一助になっている。また、市公式LINEでも母子モを紹介することで、登録者数の飛躍的増加につながった。	B	引き続き周知を図っていくとともに、情報発信体制の強化を図る。						◎
15	市内小中学校における「いのちの授業」開催	被害者あるいは遺族による講演と、関連展示を行なっている。「社会全体で犯罪被害者等を支え、被害者も加害者も出さない地域づくり」を進めて行く為、子ども達がいのちの大切さへの理解を深めると共に、保護者等が犯罪被害者等の支援を考える手助けとなるよう、広報啓発の一環として開催する。	福祉総務課	4校で開催した。 向島小学校、玉祖小学校 華西中学校、大道中学校	3校で開催した。 新田小学校、西浦小学校 勝間小学校	今年度は未実施の学校3校で開催した。今後もいのちの大切さを児童生徒に伝えていきたい。	B	未実施の学校(小学校1校、中学校2校)を優先に実施していく。						◎
16	森の豊かな贈り物事業	幼い時から木材にふれあう環境を整備し、木のぬくもりを実感していただくため、身近な自然である山口県産の木材を使用した玩具を幼児に贈呈する。	農林漁港整備課	1歳6か月児へ積み木の配布 785人	1歳6か月児へ積み木の配布 753人	積み木を手にした幼児や保護者からも喜びの声が届いており、今後も関係機関との連携を図り、継続して実施したい。	B	今後も継続して実施する。						◎
17	家庭教育学級(各公民館)合同家庭教育学級(文化センター)	家庭教育学級を各公民館で開催。乳幼児や小・中学生を持つ親を対象に、子育ての基本や家庭教育のあり方等の講話・実習等を実施する。合同家庭教育学級を開催し、各公民館の家庭教育学級生を対象に、有識者の講演会を行う。	生涯学習課	家庭教育学級回数: 127回 参加者延べ: 1,853人 合同家庭教育学級参加者: 55人	家庭教育学級回数: 137回 参加者延べ: 2,049人 合同家庭教育学級参加者: 42人	社会情勢や家庭環境の変化に伴い多様化するニーズに対応した内容の検討が必要である。	B	引き続き実施する。						◎
18	就学期子育て学習会	家庭の教育力を高めるため、毎年各小学校で行われる就学时健康診断の機会を利用して、就学児童の保護者を対象とした子育て学習会を開催する。	生涯学習課	開催数: 15校	開催数: 16校	実施内容を共有し、多様なニーズに対応した内容となるよう検討していく必要がある。	B	引き続き継続していく。						◎

第2次防府市健康増進計画【健やかほうふ21計画(第2次)】 令和6年度事業実施状況調査票

今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を休廃止

各分野の取組
食 : 栄養・食育
歯 : 歯と口の健康
運動: 身体活動・運動
健康管理: ケンシン(健診・がん検診)等
喫煙: たばこ対策
こころ: 親子のこころの健康、こころの健康
※主に中心となる取組をした分野に◎、取組をした分野は○

(6)こころ_みんなのこころ

No.	事業名	事業概要	担当課	令和5年度実施状況	令和6年度実施状況	令和6年度の評価と課題	今後の方向性	各分野の取組					
								食	歯	運動	健康管理	喫煙	こころ
1	心の健康に関する講演事業	自殺予防週間に合わせて、医師による心の健康に関する講演会を開催する。	健康増進課	9月22日(金)「小中学生のこころの成長と接し方のコツ」 講師: 公認心理師、参加者: 53人	2月21日(金)「身近なネット・ゲームと心の健康〜うまく付き合うコツ〜」 講師: 公認心理士、参加者29人	小中学生の親をターゲットとし、学校を通じたチラシ配布や申込をオンラインでも可能とする等工夫した。 普段依存症の治療に関わっている講師から説明していただいたことで、多くの人が「理解できた」「だいたい理解できた」と答えていた。	B 今後も、防府市の自殺の現状を見極めながら、内容や講師を選定する必要がある。						◎
2	ゲートキーパー養成講座(ココロぽっとサポーター)	地域や関係団体を対象に、自殺予防に関する知識やゲートキーパーの役割を、講義やロールプレイングで学ぶ講座を実施する。	健康増進課	参加者: 81人 自治体向け動画視聴者: 4人 受講者: 1,447人	参加者: 42人 受講者: 1,481人	例年の一般向け、職員向けに加えて、他の事業で関りをもった福祉事業所の職員に講座を開催することができた。	B 今後も、機会をとらえながらより多くより多くの市民に知識を普及できるよう検討する必要がある。						◎
3	うつ病・自殺予防について心の悩み相談窓口の啓発	市広報やホームページ等で、こころの相談窓口や9月の自殺予防週間、3月の自殺対策強化月間の普及・啓発を行う。月間にあわせて啓発バッチを着用し、市の窓口業務にあたる職員が啓発する。うつ・自殺予防啓発カードを作成し、市役所や関係機関のトイレ等に配置する。	健康増進課	悩んでいる人だけでなく、相談を受けた人も各種悩みに対応した相談先がわかるように悩み事相談窓口一覧を改訂した。また、このリーフレットにつながるQRコードを掲載したシールを作成し、庁内関係課、包括連携企業や健康経営企業、病院等に配布し、広く市民に普及した。	昨年度改訂した悩み事相談窓口一覧を、民生員や関係機関など約2000部配布した。	広く市民に普及するための媒体を時代に合わせて作成し、地域の企業等とのつながりを生かして普及を図ることができた。	B 今後も様々な機会を通じて悩みごと相談窓口について普及を図る。						◎
4	相談支援事業	障害者(児)や難病患者、またその家族等からの生活や就労、権利擁護等に関する相談や支援を実施する。	障害福祉課	支援実人数: 676人	支援実人数: 598人	市の窓口や相談機関等で障害のある人やその家族等からの相談に対応した。相談内容が年々複雑化、多様化しており、一人当たりの相談対応時間が長くなる傾向にある。	B 相談支援機関と協議を行い、相談支援体制の充実を図る。						◎
5	男女共同参画相談事業	女性からの悩みごと(DV相談も含む)に関する相談業務を行い、その保護や自立に向けた支援を行う。	福祉総務課	相談件数: 来所334件、電話128件	相談件数: 来所352件、電話122件	相談件数が年々増加しており、相談内容も多様化・複雑化している。相談体制の強化と関係各機関との連携がさらに必要となっている。	B 関係各機関との連携をさらに強化し、引き続き相談体制の充実を図る。						◎

第2次防府市健康増進計画【健やかほうふ21計画(第2次)】 令和6年度事業実施状況調査票

健康づくり全般								各分野の取組						
No.	事業名	事業概要	担当課	令和5年度実施状況	令和6年度実施状況	令和6年度の評価と課題	今後の方向性	各分野の取組						
								食	歯	運動	健康管理	喫煙	こころ	
1	食育推進事業(健康づくり推進のつどい)	健康づくりの大切さを広く普及し、今後の健康づくりのきっかけとするため、隔年で「健康づくり推進のつどい」を開催する。	健康増進課	『みんなでたのしく「食」と「健康」を学ぼう!』をテーマに開催。 参加者:49組157人 (大人76人、子ども81人) 協力団体:10団体	各年で実施するため、実施は無し。令和7年度実施に向けて、健やかほうふ21計画推進委員とグループワークを行い、実施内容のアイデアをまとめた。	前回の課題や計画の目的、市民の状況をふまえ、意見やアイデアを出し合うことができた。	A	推進委員からの意見やアイデアを活かした事業となるようイベントの計画、実施をする。	◎	○	○	○	○	○
2	生活習慣病予防事業	壮年期からの健康づくりと、脳卒中、心臓病等の生活習慣病の予防を図り、市民の健康増進に資することを目的として、健康教育や健康相談、訪問指導等を行う。	健康増進課	健康教育:45回 参加者延べ:1206人 健康相談:53回 参加者延べ:299人	健康教育:37回 参加者延べ:929人 健康相談:69回 参加者延べ:146人	健康教室や講演会の予約方法にWEB予約を追加したり、ポスターや周知方法を工夫したりすることで、壮年世代の参加者を増やすことができた。 引き続き、壮年期を取り込む内容の工夫が必要である。	B	健康課題と連携させ、効果的に伝えられるよう内容を改善しながら、引き続き継続する。	◎		◎	○		
3	市民教養講座	防府市文化センターや各公民館の市民教養講座の中で、料理教室やフラダンスやヨガ、太極拳等の講座を開催する。	生涯学習課	延べ回数:763回 参加者延べ:9,675人	延べ回数:742回 参加者延べ:10271人	12公民館等で、左記講座が開催できている。	B	引き続き実施する。	○		○			
4	健康維持・増進に関する情報発信	市広報やラジオ、テレビなどの各種メディアを活用し、健康維持・増進に関する情報を発信する。	広報政策課	「健やかほうふ21計画(第二次)」に沿って、市広報に健康維持・増進に関する記事を掲載し、情報発信を行った。	「健やかほうふ21計画(第二次)」に沿って、市広報に健康維持・増進に関する記事を掲載し、情報発信を行った。	市広報を用いて適宜情報発信ができている。	B	引き続き、健康増進課と連携し、健康維持・増進に関する記事を掲載する。	○	○	○	○	○	○

今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を休廃止

各分野の取組
食 : 栄養・食育
歯 : 歯と口の健康
運動: 身体活動・運動
健康管理: ケンシン(健診・がん検診)等
喫煙: たばこ対策
こころ: 親子のこころの健康、こころの健康
※主に中心となる取組をした分野に◎、取組をした分野は○

今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を休廃止

各分野の取組
食 : 栄養・食育
歯 : 歯と口の健康
運動: 身体活動・運動
健康管理: ケンシン(健診・がん検診)等
喫煙: たばこ対策
こころ: 親子のこころの健康、こころの健康
※主に中心となる取組をした分野に◎、取組をした分野は○